

■2008年度学校選択制度の実施状況(都教委調べ)

区名	小学校	中学校
千代田	○	
中央	○	
港	△	○
新宿	△	○
文京	○	
台東	○	
墨田	○	○
江東	○	○
品川	○※1	○
目黒	△	△
渋谷	○	○
杉並	△	△
豊島	△	△
荒川	○	○
板橋	○	○
練馬	○	
足立	○	○
葛飾	△	○
江戸川	○※2	○
八王子	△	○
立川	△	
調布		○
町田	○	○
日野	○※3	○※4
国分寺	△※5	△※5
清瀬		○
武蔵村山		○
多摩	○	○
西東京	○	○

◎…自由選択制(当該市区内全ての学校のうち希望する学校に就学を認めるもの)

○…ブロック選択制(当該市区内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認めるもの)

△…隣接区域選択制(従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認めるもの)

\*1…区内4ブロック

\*2…徒歩通学可能な範囲

\*3…市内8ブロック

\*4…市内4ブロック

\*5…特定地域において

「見直しに至った江東区の理由をきちんと聞いてみた。隣接する中央区は来年度から、小学校で「特認校制度」を導入するなどして、江東区の動向が気になる」と賛否両論。

中央区の「特認校制度」は、従来の通学区域は残しつつ、各地区からでも通学できる学校を設置する仕組み。全16校中、6校が特認校となる。

月島地区などは高層マンションが次々に建設中。地域に

なる様だ。

月島地区などでは高層マンションが次々に建設中。地域に

なる様だ。

## 19区「検証したい」

江東区教委が来年度から、小学校の学校選択制を見直し、地元の学校への通学を原則とすることを決めた。都教委によると、都内では品川区や八王子市など19区と10市が小中学のいれかで選択制を実施している。希望する学校に行けると同時に、学校による競争でレベル向上を目指した同制度。一方、通学に時間がかかり、地域との一体感が薄れる不安の声もある。各市区教委は制度をきちんと検証したいと関心を寄せた。

# 地域連帯どう確保

## 江東区の小学校選択制度見直し

葛飾区教委は「地元の学校に地元の子が通学しないのはいかがなものか、との声はある。同じ区内の子どもだから理解してください」とお願

いしている」という。

### 意識変化

一方、豊島区教委は、「一般論と断った上で「PTAのない手がないなど、保護者の学校に対する意識が変化してきたことも、地域の連帯感が薄れる要因の一つではないか」と分析する。豊島区は小

論がある。同区教委は「この意見を述べるのはそれぞの区の考え方」としながらも、「これから導入する立場としては、江東区の運用状況

磨きを図った方がいい」と賛否両論がある。同区教委は「この意見を述べるのはそれぞの区の考え方」としながらも、「これから導入する立場としては、江東区の運用状況

磨きを図った方がいい」と述べる。さらに保護者などによる学校の外部評議会や学校コードネイターティー制度などとしている。同区教委は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

### 活力模索

小中学校いずれも選択制を

とらない区は世田谷、北、中野、大田の4区。選択制の主たる狙いは、学校間の競争による全体のレベルの底上げ。

世田谷区教委は「選択制を採

らなぐとも、活性化はでき

る」と話す。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

安全を考えて、小学校は隣接

学区まで。中学校のみで実施する練馬区は「小学校は地

域の連帯感が希薄になるため

実施しない」という。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。

一方、豊島区は「地域とともに、地域の連帯感が希薄になる」と話す。